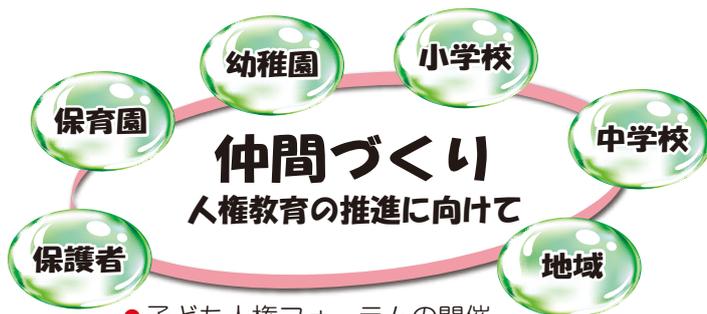


一志中学校区における 小・中一貫9年間を見通した人権教育の推進 ～豊かな人間性の育成を目指して～

これまでの一志中学校区の取り組み

小学校4校(大井小・波瀬小・川合小・高岡小)と一志中学校が、互いに情報交換や交流をし合いながら各学校の教育活動を充実させ、併せて中学校教育を円滑にスタートし、小学校から継続した学習の積み上げを確実なものとするのに必要な視点や共通の学習経験を身に付けることができるよう、取り組みを進めてきました。



- 子ども人権フォーラムの開催
- 教育活動における実践交流
- 一人一人の確かな学びの保障
- 全ての子どもたちにとって分かりやすい授業
- 切れ目のない支援体制の確立
- 地域との連携推進



子ども人権フォーラムの様子

連携の深まり

児童の交流、合同行事の開催、教職員の共通認識の醸成

小中一貫教育によりさらなる教育活動の充実へ

一貫教育の推進に向けたシステム・組織体制・環境等の整備

人権教育を柱とした豊かな人間性の育成

- 命の教育
- 人権についての理解と認識の深化
- 仲間づくり
- 基本的生活習慣の定着と規範意識の育成
- 心を耕す体験活動の推進

特別支援教育の理念を生かした学びの充実

- 一人一人の確かな学びを保障する教育活動

一志中学校区の目指す子どもの姿

自他を大切に、いじめや差別を見抜き、許さず、認めない児童生徒

豊かな感性と興味関心を持ち、自ら探求し、学び続ける児童生徒

全ての学びには、人と人の関わりがあり、互いに認め合い大切に思う豊かな心が基本となります。そのため大きな柱が人権教育という視点であると捉え、命の教育・人権についての理解と認識の深化・仲間づくり・基本的生活習慣の定着と規範意識の育成・心を耕す体験活動の推進などを中心に据えながら、9年間にわたる小中一貫教育の構築を目指します。